



島農28人に修了書

介護職員初任者研修

進学や就職でいかす

島原農高(前田達彦校長、3886人)で2日、第6回介護職員初任者研修の修了式が行われ、生活福祉科3年生のうち福祉・看護コース男女28人に修了書が手渡された。写真。

同研修は以前のホームヘルパー2級に相当し、介護を目指す人にとって入門となる資格。生徒らはことし1~8月、130時間にわたって大学などの外部講師からも学び、福祉施設での実習にのぞみ、資格を取得した。今後、介護施設へ就職したり進学したりするなど学んだことをいかしていく。

前田校長が一人ひとりに修了書を手渡し、「介護の技能と実践を積んだ証であり、自信と誇りに。さらに学んで自身を高めて。将来就職する人は利用者に寄り添える介護職を目指して。人に対する思いやりや優しさや常に忘れない社会人になってほしい」と期待を込めた。

生徒らは一人ずつ「専門的な知識と命の大切さも学んだ」、「介護の大変さとやりがいを実感した。就職先でもいかしたい」など決意表明。県外の福祉施設から内定を得た池田麗加さん(18)は「大変なこともあったが、人との関わり方もりも感じた。学んだこと